

武器輸出大国 ニッポンで いいのか



池内 了
古賀 茂明
杉原 浩司
望月衣塑子

武器輸出三原則を
突然撤廃した
安倍政権

死の商人国家

学問の軍事利用

急速に進む
その知られざる
実情は…

あけび書房 定価 本体1500円+税

四六判、192ページ 本体1500円 ISBN978-4-87154-148-0

あけび書房 〒102-0073 東京都千代田区九段北1-9-5 TEL.03-3234-2571 FAX.03-3234-2609
E-mail : akebi@s.email.ne.jp http://www.akebi.co.jp

武器輸出禁止3原則の突然の撤廃
無人偵察機をイスラエルと共同研究
防衛省2017年度、軍事研究助成18倍に
武器輸出を根幹に据えたアベノミクス…
安倍政権下で進むとんでもない実態

池内 了 名古屋大学および総合研究大学院大学名誉教授
古賀 茂明 元経済産業省官僚、霞が関「改革派の旗手」
杉原 浩司 武器輸出反対ネットワーク(NAJAT)代表
望月衣塑子 東京新聞社会部記者



- まえがきに代えて—「メイドインジャパン」を平和産業の代名詞に
- 1章 戦争を欲する社会にはならない 古賀 茂明
—元経産省官僚が見る武器輸出解禁「悪魔の成長戦略」
- 2章 国策化する武器輸出 望月衣塑子
—武器輸出ビジネスの最前線から見えること
- 3章 急進展する軍学共同にどう抗するか 池内 了
—問われる科学者の社会的責任
- 4章 「死の商人国家」にさせないために 杉原 浩司
—武器輸出反対ネットワーク(NAJAT)の取り組み
- あとがきに代えて—「武器輸出をしない」国を選び直すこと

本書「まえがきに代えて」—「メイドインジャパン」を平和産業の代名詞に

今、「メイドインジャパン」を誇ってきた日本の電機メーカーなどの多くは、世界の市場競争の中で後退を強いられている。その苦境を、武器輸出という禁じ手に踏み込むことで打開しようとするものがあってはならない。

人を殺すための技術ではなく、人を生かすための技術を。人を殺して儲ける経済ではなく、人が共に生きるための経済を。「メイドインジャパン」を平和産業の代名詞に。本書のメッセージが、迷いの中にある大企業の幹部に、その下請けとして日本のものづくりを支えてきた職人の方々に、さらには研究者の方々にも届くことを願っている。

ネット線

ご記入のうえ、最寄りの書店か取扱先、あるいはあけび書房の書房へご注文下さい。

『武器輸出大国ニッポンでいいのか』を()冊注文します

その他・備考

氏名・団体名

送り先 〒 () () ()

電話 () () ()

ご担当者氏名

あけび書房
TEL 03-3234-2571
FAX 03-3234-2609

注文書

書店印・取扱先

取扱店名：日販・トーハン・大塚屋栗田・中央社・大塚屋書・日教販・全官報・新日本図書・鎌倉書店・JRC